

国会会議録検索システムの使い方

1. 国会の会議録検索システムとは

国会会議録検索システムは、国立国会図書館と衆参両院がインターネットで運営する無料のサービスです。第1回国会（1947年5月開会）以降の衆参両院の全ての本会議、委員会などの会議録をデータ化しており、日付、発言者、発言内容などで検索することができます。

国会での立法過程は、法案の提出、本会議での趣旨説明、担当の委員会への付託、委員会での審査（必要に応じ、有識者から意見を聞く公聴会の開催）、本会議での審議といった経過をたどります。この間の記録として会議録があり、法案、予算のほか、国政全般にわたる議論の内容を知ることができます。

2. 基本的な使い方

(1) ログイン

利用者用端末から、次の手順でご利用ください。

- (I) 「電子情報（デジタル化資料・電子ジャーナル等）」を選択する。
- (II) 「データベースの分野から探す」の「政治・法律・行政」を選択する。
- (III) ページ下側に表示されるデータベース名から、「国会会議録検索システム」を選択する。

ご自宅などでインターネットから利用することもできます。URL (<http://kokkai.ndl.go.jp/>) をご入力いただくか、「国会会議録検索システム」で検索してください。

(2) トップページ



◆簡単検索・
詳細検索
→語句を入力して検索したい場合に使います。

◆選択閲覧
→特定の会議録の全体を通覧したい場合に使います。

(3) 簡単検索

国会会議録検索システム - 案件入力

簡単検索 - 検索条件入力

検索 リセット

期間指定

開会日付 選択 平成 22 年 01 月 30 日から
閉会日付 選択 平成 27 年 01 月 30 日まで

発言者指定

発言者名 選択

会議指定

院名 すべて 衆議院 参議院 両院・合同
会議名 選択

検索語指定

検索語: 複数指定の場合はスペースで区切って入力してください。

すべてを合す(AND) いづれかを合す(OR)

- ◆日付、発言者、検索語などを、分かる範囲で入力します。
- ◆日付は、「日」まで入力しないと検索できません。
- ◆発言者は、議員と国務大臣については、読みがなでも検索できます。
- ◆検索結果から「会議名」を選択すると次のような画面になります。

国会会議録検索システム - 本文表示(MAIN)

国会会議録検索システム

本文表示

検索結果一覧画面 前会議録 次会議録 検索条件入力画面

[009/015] 15 - 衆 - 予算委員会 - 31号
昭和28年02月28日

発言者: 前次 268 / 333
検索語: 前次

画像(PDF形式)
画像(TIFF形式)
選択閲覧

○吉田国務大臣 ……私の言葉は不穏当でありましたから、はつきり取消します。

全選択 全解除 強調のみ選択

番号指定 番～ 番 選択

ダウンロード ヘルプ

- ◆検索結果が複数ある場合は、「次会議録」ボタンで次の会議録に移動します。
- ◆「検索語：次」ボタンで、検索条件に該当する次の発言に移動します。
- ◆「画像（PDF形式）」又は「画像（TIFF形式）」ボタンで、冊子体の画像が表示されます。
- ◆発言者の左のボタン（発言する人の形のボタン）で、所属会派などが表示されます。

(4) 詳細検索

国会会議録検索システム-条件入力

国会会議録検索システム-条件入力

国会会議録検索システム

詳細検索-検索条件入力

検索 リセット

期間指定

開会日付 選択 平成 22 年 01 月 30 日から
平成 27 年 01 月 30 日まで

国会回次 選択 回 から 回 まで

発言者指定

発言者名 選択
肩書き 選択
所属会派 選択
役割 証人 参考人 公述人

会議指定

院名 すべて 衆議院 参議院 両院・合同
会議名 選択
号数 号から 号まで 開会中審査

検索語指定

検索語: 複数指定の場合はスペースで区切って入力してください。

- ◆簡単検索に比べ、詳細な検索条件で検索できます。
- ◆国会回次、発言者の肩書き・所属会派・役割（証人・参考人・公述人）、会議録の号数などが分かっている場合にご利用ください。

(5) 選択閲覧

国会会議録検索システム

国会会議録検索システム

選択閲覧

衆議院 参議院 両院協議会・合同審査会等

会期一覧表示

ご使用方法

◎院・回次・会議名・日付を選択することで会議録の閲覧ができます。
登載会議録は第1回～現在までの会議録議事部分です。

◎第1回国会～第144回までのデータは、画像から読みとったテキストデータですので、誤字・脱字がある可能性があります。
正確な表記は、PDF形式またはTIFF形式の会議録(冊子)画像をご覧ください。
なお、誤字・脱字等がありましたら、メール・アンケートで情報をお寄せいただけますよう、ご協力をお願いします。

- ◆院、回次、会議名、日付を順次選択していくと、特定の会議録の全体を通覧できます。
- ◆収録しているのは日時、出席委員などの情報と、口頭審議の部分のみです。審議の対象である議案の内容などについては、「PDF」ボタンで冊子体の画像をご覧ください。
- ◆「会期一覧表示」ボタンで、国会回次（第〇回国会が何年に開かれたか）が参照できます。

3. 具体的な使い方の例

(1) 法案の論点を調べる

どのような法案が審議されているかは、衆議院・参議院のホームページ(http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_gian.nsf/html/gian/menu.htm) (<http://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/gian/current/gian.htm>)などで調べることができます。その上で、法案名、国会回次、日付などから国会会議録を検索し、法案の趣旨説明、質疑、討論などを見ることで、法案の論点を調べることができます。

また、国立国会図書館の日本法令索引(<http://hourei.ndl.go.jp/SearchSys/index.jsp>)からは、法案の審議経過に沿って、国会会議録検索システムにリンクが張られています。

提出回次	種別	提出番号	提出者	提出年月日	備考
2	閣法	118	内閣	昭和23年6月10日	

回次	審議した院/会議名	号数	開催日	ページ	審議状況	備考
2	衆議院/文化委員会	11	昭23.6.15	1-2	議案	
2	衆議院/文化委員会		昭23.6.15	2-3	趣旨説明	

◆法律名又は法案名を入力して検索してください。

◆検索結果から「審議経過」を選択すると、上記画面のような会議録一覧が表示されます。「号数」のボタンで画面右側に国会会議録のデータが表示されます。

(2) 法律用語の解釈を調べる

ある法律用語などについて、政府がどのような解釈をしているか、それについてどのような議論があったかを調べることができます（例えば、「武力の行使」（憲法第9条第1項）、「サンセット条項」、「超法規的措置」など）。なお、内閣法制局の国会答弁については、『国会答弁抄』内閣法制局（加除式）〈当館請求記号：BZ-5-11〉にまとめられています。

(3) ある政策分野についての議員の見解を調べる

例えば、経済政策、女性政策などの特定の政策分野に関する現役閣僚の見解などを、過去にさかのぼって調べることができます。